

## 家族相談員の役割と対応の仕方

～東京都精神科救急医療の現状から学ぶ～ に参加して。

3月5日(金)午後1時30分から東京都障害者福祉会館で行われました。当日は100名規模の集会室50名が参加していました。

講師は NPO 法人メンタルケア協議会理事(精神保健福祉士)の西村由紀さんでした。

講演の中でのいくつかのポイントを紹介します。

### ★相談を受ける時大事にすること

相談者を理解することと、相談するときの心境を考えることが大事だと言っていました。(主に当事者からの相談対応)

1 自分の弱さを見せるのが恥ずかしい。2 馬鹿にされる、傷つけられるかも。3 不本意なことを言われる、説教されるかも。4 弱みを握られる、言いふらされるかも。5 不全感(整理がつかない、もやもや)。6 怒り・不満 7 混乱・視野狭窄・絶望・自暴自棄相談したい、相談するのは怖い等相談者は考えている。

### ★心構えで大事なことは「対等」であること

1 相談者と相談員は対等な立場であることを常に意識する。2 「聴いてあげている」のではなく「聴かせてもらっている」と考えるくらいでちょうど良いかも。3 相談者を上から目線で見たり、教え諭した気持ちは抑える。4 もしそのような気持が現れたら、自分自身のアセスメントをする、5 ただし、卑屈になることはなく、あくまで対等。

### ★考えて答えを出すのはだれ

1 考えるのも本人。2 答えを出すのも本人。「相談を受ける者は、自問自答する人を見守る役割。ヒントや答えの探し方を示すくらいにとどめる。」3 困りごとや悩みから逃げずに考える力・4 すぐに解決できないことを抱える力。5 そして、自分の弱さを認めて相談できる力。「決定的に追い詰められないように見守りや支えながら、自分で困難を乗り越える成功体験をさせる」

### ★相談者はだれ？

～本人以外からの相談～1 心配して相談をしてきたことを労う。2 しかし、相談者がひとりで抱え込んで対応するのは難しいと伝える。3 相談者に、「あなたが～～のように話したいを聞いてあげてください」と責任を負わせることは危険。4 相談者以外に、一緒に考えてくれる人はいないか、考える。例) 家族からなら、他の家族、医療機関、子家セン等 例) 彼氏彼女、友人、同僚等からなら、本人の家族との連携は必要とのことでした。

このほかにも沢山話されましたが、私たち親、兄弟、姉妹にとっても当事者と話すときのポイントになると思います。ご参考になればと思います。

精神保健福祉家族会シュロの会

会長 植松 和光



## レポート1

広島理事からの投稿文

介護現場での「身体拘束に関する研修」があり、その内容についてまず少し書きます。

身体拘束の要件として、切迫性、非代替性、一時性の3つがありひとつでも欠けたら虐待にあたります。また、必要な手続きを踏んでいない身体拘束も虐待にあたります。

介護現場では、限られた人員の中でも、事故を起こしてはいけないことも事実です。線引きは、難しいときもあると感じています。精神疾患での身体拘束はどうでしょうか。

精神疾患により医療機関にかかっている患者数は、近年大幅に増加しており、平成26年は392万人、平成29年では400万人を超えています。

内訳としては、多いものから、うつ病、不安障害、統合失調症、認知症などとなっており、近年においては、うつ病や認知症などの著しい増加がみられます。

精神障害者の身体拘束正しい情報はありますが、みんなねっとのホームページから、平成30年3月発行の「精神障がい者の自立した地域生活の推進と家族が安心して生活できるための効果的な家族支援等のあり方に関する全国調査報告書」の中から抜粋してみました。

### 隔離室の利用、身体拘束について

#### (1) 身体拘束の影響や効果

##### 1. 調査の設問の結果

内容的には、圧倒的に「効果はなかった」という記述が多かった。肯定的な効果としては、「落ち着く」「おとなしくなった」「薬を飲むようになった」「自傷ができなくなった」などがあつた。否定的な影響としては、「屈辱的だった」「ショックだった」「(本人に)ストレスが溜まった」などが多かつた。またこれらのことから家族や医療者に対する不信が深まったとする記述も多かつた。

#### (2) 身体拘束や隔離があつた際の家族の気持ち

身体拘束などの状態を見て、家族としては止むを得ない面もありながら、辛く悲しいという否定的な状態であつたことが多いことが伺える。とありました。

精神疾患での身体拘束でも、線引きは、難しいときもあると思われまふ。

## レポート2 ～第3回学習会報告～

### 就労支援事業について

実施：令和3年2月21日午後1時30分から4時まで

場所：くにたち福社会館 中会議室

講師：山地圭子氏 社会福祉法人多摩棕櫚亭協会

障害者就業・生活支援センター「オープナー」施設長

国の広域事業としての就労移行支援事業(期限あり・2年)は都内に6か所あります。そのうちのひとつが多摩棕櫚亭のオープナーです。

また、東京都の支援として、各区市町村に障害者就業支援センター(期限あり・2年)があります。



## ◎多摩棕櫚亭のオープナーについて

「働きたい」と思う方、まずは【相談】してみましよう。

オープナーの電話番号は042-571-6055。

南武線谷保駅徒歩2分のところにあります。

障害者手帳のない方、国立市以外にお住いの方も相談できます。相談は面談でお聞きします。

1回の相談は1時間以内です。何を相談したらよいか分からなくても大丈夫。お気持ちを丁寧に聞いていきます。相談は一人でも家族と一緒にでも良いです。信頼関係を大事にしています。

見学をして、本人とオープナー、双方の同意が取れましたら通所を開始します。

オープナーからピアス【自立（生活）訓練事業所・就労移行支援事業・定着支援事業】へ紹介します。



## ◎多摩棕櫚亭のピアスについて

### 【自立（生活）訓練事業所】

就労移行支援事業を利用するために

- ・安定通所（週4日程度）する体力を作る
- ・場や集団になじむ
- ・業務の基礎を学びます。

求職中のリワーク、求職活動中の生活リズム維持での利用も受け入れています。



【学習会風景】

### 【就労移行支援事業】

弁当宅配部門、環境整備部門、リネン作業部門、事務作業部門の就労トレーニングがあります。それぞれの特徴あるトレーニングを経て自分の適性が見えるようになります。職業準備、訓練・職場実習のあっせん・就職活動の支援をします。

### 【定着支援事業】

移行支援事業などを利用し、一般就労した障害者の就労定着のためにアフターフォローします。利用期間は3年（就労から6か月以上3年6か月以内）です。

### 【CESプログラム（社会的コミュニケーション）】

グループワークを通して対人関係に必要な「相手の気持ちを考える」ことを学習します。

得意不得意を見直すことで障害についての理解を深め、より快適な社会生活を送れることを目指します。月3回火曜日（基礎グループ）月1回土曜日（就職者グループ）があります。

質問：オープナーとピアスの違いは？ ➡ オープナーは相談しか出来ません。ピアスは実際にトレーニングする場所です。

質問：オープナーでは担当者は同一の人がずっと継続するのでしょうか？ ➡ 新規相談は3人担当で3回は聞かせていただいています。以後は場合によっては変更出来ます。

質問：オープナーとピアスには年齢制限がありますか？ ➡ ありません。30～40代が一番多いです。「体力がない」と自身が判断すると、仕事をあきらめてしまう方がいます。

## お知らせ

# 令和3年度精神保健福祉家族会 シュロの会総会のご案内

新型コロナウイルス感染症の終息はまだまだの状況ですが、季節はいつもどおり寒かった冬が過ぎ、桜の花を咲き始める季節になろうとしています。

会員の皆様にはいつもご支援を賜りありがとうございます。

さて、当会の令和3年度総会を次のとおり行いますが、**今回はコロナ禍での総会となりますので会員のみで行います。**

シュロの会会員の皆様にあつては是非ともご出席くださいますようお願いいたします。

### 1 日時

4月18日(日) 午後1時30分から4時まで

### 2 場所

くにたち福祉会館 中会議室 国立市富士見台2-38-5

### 3 内容

#### (1) 一部総会

令和2年度活動報告及び決算・監査報告

令和3年度活動計画及び予算案、役員の選任

#### (2) 二部交流会

参加者の皆さんと交流会を行います。



## 今後の活動予定

### ○シュロの会ミニ交流会(1回目) 家族相談日

日時 令和3年5月23日(日) 午後1時30分

場所 くにたち福祉会館 3階 講座室

内容 自由参加による会員のミニ交流会と併せて家族の方の相談を行います。



## 自由広場

会員の皆様からのコメントをお待ちしております。

コメントは、家族会・ミニ交流会時やホームページのお問合せメールでお受けいたします。40文字以内でお願いします。(編集部)

○1/6に減薬してから2月末まで体調悪化させていた息子ですが、良くなりました。先週から更に減薬してありますが今回は元気。有給無くなり欠勤1か月続き「4月からの契約打ち切りますから！」施設長の喝！が効きました。(ま)

○近くの公園の遊具が修理のため撤去されます。2歳の孫が安心して遊べる公園を探しています。(て)

**編集後記** 自然は確実に前に向かって進んでいます。今年も桜の季節がやってきました。去年はコロナ禍で各地でお花見のイベントが中止となりましたが、今年は「新たな生活様式」の中で工夫をしながらもお花見イベントが開催されます。今までのように桜の木の下でお弁当を広げるといことはできませんが、今年は家族で桜を見に行こうと思っています。

皆さんのお花見計画はいかがでしょうか・・・。

